

2024年11月14日
株式会社電通 PR コンサルティング

電通 PRC、LGBTQ+への取り組みを評価する「PRIDE 指標」において 最高位「ゴールド」を2年連続で受賞

株式会社電通 PR コンサルティング（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山口恭正、以下、電通 PRC）は、職場における LGBTQ など性的マイノリティー（以下、LGBTQ+）への取り組みに関する評価指標を定めた「PRIDE 指標 2024」において最高位の「ゴールド」を受賞しました。「ゴールド」の受賞は2年連続となります。



同指標は企業などの団体において、LGBTQ+に関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体「work with Pride」（注1）が2016年に策定したものです。「work with Pride」は、以下の五つの指標に基づく項目で企業や団体を評価し、各項目における得点に応じて、「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」を認定しています。当社が同指標にエントリーするのは今年が4回目です。（2021年・2022年シルバー受賞、2023年ゴールド受賞）

1. Policy（行動宣言）
2. Representation（当事者コミュニティ）
3. Inspiration（啓発活動）
4. Development（人事制度、プログラム）
5. Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）

電通 PRC では、LGBTQ+に関する社員の勉強会の開催、人事担当者の研修受講、社員の意識調査の実施、法律の専門家による相談窓口設置の他、一般社団法人 Famiee（注2）の活動への賛同とプロボノサポートなどを通し、同性婚を含む多様な家族形態の在り方への

理解を広げる活動を行っています。

2022年からはLGBTQ+の当事者をアドバイザーとして迎え、社員の有志で設立したアライ（LGBTQ+理解・支援者）コミュニティを中心に、ワークショップの開催、メールマガジンの配信を行うなど理解促進を図っています。6月のプライド月間には、今年3回目となるグループ社員向けイベント「OnlinePRIDE」を国内電通グループ（dentsu Japan）4社で共催しました。

2023年度には社内規則を改定し、配偶者およびその家族に関わる各種制度を同性パートナーにも適用、手当や福利厚生サービスの利用を可能にしました。また「LGBTQ+に関するインクルージョンのためのガイドライン」「採用面談におけるカミングアウトについて」を社員に共有し、意識啓発を推進しました。

今年是新卒採用社員を対象に、より働きやすい環境を整えるため、持病や障害、性自認、家族の介護など配慮が必要な事項を確認するための「配慮事項の確認について」を作成し、運用を開始しました。今後は、全社員を対象に拡大していく予定です。

電通 PRC 代表取締役社長執行役員の山口恭正は、「2年連続でゴールドを受賞できたことを光栄に思います。当社では多様性こそがイノベーションの源泉であると考えています。これからも、性的指向や性自認にかかわらず、誰もが自分らしく働け、個々人の能力を生かすことのできる職場環境・風土づくりに取り組んでまいります」と述べています。

（注1）任意団体「work with Pride」：<https://workwithpride.jp/>

（注2）一般社団法人Famiee：<https://www.famiee.com/>

株式会社電通 PR コンサルティング

電通グループ内の PR 領域における専門会社。1961年の創立以来、国内外の企業、政府、自治体、団体の戦略パートナーとして、レピュテーション・マネジメントをサポートしています。データ分析を行い、そこから得られたインサイトに基づくコンテンツ開発と最適な情報流通デザインを通して、クライアントと共にソーシャルイノベーションへの貢献を目指しています。2009年、2015年には、日本国内で最も優れた PR 会社に贈られる「ジャパン・コンサルタンシー・オブ・ザ・イヤー」を、2018年には「北アジア PR コンサルタンシー・オブ・ザ・イヤー」を PRovoke Media (旧 Holmes Report) から授与されています。